

あいの職員を紹介します

- 【質問】①名前
- ②部署
- ③マイブーム
- ④私のプチ情報
- ⑤意気込みを一言



- ①水原 梨沙
- ②就労継続支援B型
- ③万博公園を散策すること
- ④10人家族です！
- ⑤笑顔を決やさず頑張ります！



- ①真継 いつか ②生活介護 たんぼぼ
- ③子どもと楽しめる公園を探すこと
- ④トトロやクレヨンしんちゃん(映画)は泣いてしまうので、グループでのビデオ鑑賞中は画面を見ないようにしています
- ⑤生活支援、日中活動とあいで色々学ばせていただきました。復職後は仕事と育児を上手に両立できるまでご迷惑をおかけしますが、学ばせていただいたことを活かせるよう一生懸命頑張ります。



- ①堀川 裕華
- ②生活介護 コスモス
- ③ドライブ(密を避けての外出)
- ④密かにダイエット中です(笑)頑張ります！
- ⑤毎日、笑顔で頑張ります！



- ①磯崎 成美
- ②生活介護 チューリップ
- ③鬼滅の刃
- ④男の子2児のママです！
- ⑤笑顔いっぱい！頑張ります!!!



- ①福巖 翼
- ②子ども発達支援センター風
- ③コーヒーにはまっています。
- ④入社して11年目になりますが、体調を崩して仕事を休んだことがないので小さな自慢です。
- ⑤あいに来て2年目になるので、少しずつ自分の色を出しながら頑張りたいと思います。



- ①藤井 大将
- ②短期入所
- ③娘に自転車を教えること
- ④夢のマイホームを購入しました
- ⑤短期入所に配属されて今年で3年目になりました。利用者の方に安心して過ごしていただけるよう、温かい雰囲気作りを心がけています。



- ①辻 弘樹
- ②相談支援センターリーベ
- ③断捨離
- ④恋愛漫画にはまっています。
- ⑤相談支援に配属されて2年目です。まだまだフレッシュな気持ちで頑張ります。



よろしくおねがいします

あいランド

発行：
地域生活総合支援センターあい
2020年10月22日
発行責任者：
所長 辻野 滋之

理念:ともに生きる 心を育み
ともに歩む 社会の実現

発行ごあいさつ

日頃は、地域生活総合支援センターあいの運営にご理解ご協力を賜りありがとうございます。緊急事態宣言が5月下旬に解かれ、はや5ヶ月が経過しますが、未だに大阪府においても日々の新規感染者数は2桁台でありワクチン接種もまだまだ先という状況が続いています。

このような状況下においては、残念ではありますが様々な行事を中止せざるを得なくなっています。利用者の皆さんが楽しみにされていた「社会見学」や「あいまつり」、また、利用者の皆さんとご家族の方々から貴重なご意見を伺える場であった「公聴会」等が中止の運びとなりました。

今後においても、例年通りに行事等が実施できるようになるまでは、内容や規模を変更しながらはなりますが、職員で知恵をしぼり行事等も提供させていただきたいと思っております。日々の支援においてもできる限り3密を避け、飛沫防止の対策も行いながら日々の支援をしています。コロナ禍における支援の変化に何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

所長 辻野 滋之

2000年3月、およそ社会福祉とは程遠い学部を卒業した私は、4月から当法人に就職し、今年で20年目を迎えることとなりました。元来、先見の明をもって賢く立ち回れるタイプではありませんので、ペース配分をあまり考えずに望んできたこと、いつのまにか20年がたっていったという印象です。

当時の金剛コロニー内には8寮の入所施設をはじめ、診療所や体育館、グラウンド、またレストランや売店、散髪屋があり、850名の方が入所施設で暮らしておられました。はじめの配属はしいのき寮というところで、学齢時の方が生活する場所で私の職業人生はスタートしました。野球や鬼ごっこ等の遊び相手をしたり、時には寮生活や進路課題等で叱咤激励し、通所施設としての役割を担っていたことを覚えています。20年後の私はどうなっているのか。まだうまく思い描くことができませんが、利用者や職員の皆さんとともに歩み続けていることだけはお約束し、次の20年に向けて踏み出したいと思っております。

主査 富賀 博文

利用者及びご家族の皆さまには、地域生活総合支援センターあいの運営におきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。コロナ禍において、日々の検温や体調チェックなども、ご協力いただきありがとうございます。

最近、「支援センターあいのホームページを見て見学したいのですが」、という問い合わせが増えております。今年度からホームページの更新に力を入れて取り組んでいます。その理由としては、他の福祉事業所のホームページを見てみると、事業所紹介は書かれているものの、その他の部分が更新されていなかったり、利用者の方の写真や働くスタッフの写真が掲載されていることが少ないように思います。さらに、支援センターあいに見学に来た方からは、「どんな障がいのある人がおられるのか」「どんな事業所か」「誰と働くか」などの質問をされることが多い気がし、ホームページを使って皆さんの知りたい情報を発信していこうと思っておりました。今後も、支援センターあいの活動風景だけでなく、どのようなスタッフが働いているのか、福祉の仕事の魅力など、どんどんホームページを更新していきますので、皆さんも是非見てくださいね。

主査 徳井 聡史

生活介護



生活介護では、季節の行事を楽しんでいただこうと、7月7日（火）に七夕まつり・7月14日（火）に夏祭りのイベントを開催しました。

七夕まつりイベントでは、準備の段階から利用者の皆さんで笹飾りを制作されたり、お願いごとを一生懸命考えたりされました。当日は各グループに竹が出張して、お願いごとの短冊や飾り付けをして記念撮影をしました。また、夏祭りイベントでは夜店風にスーパーボールすくいやもぐらたたき、お菓子のつかみ取り等のゲームを楽しみました。一通りの夜店を回り終えると夏の名物スイカを皆さんで美味しくいただきました。「おかわり！」の声も飛び交い、とても満足されている様子でした。利用者さん全員が笑顔いっぱい楽しまれている姿を見ることができたことが職員喜びとなり、一体感や達成感を実感した一日でした。

コロナウイルス感染防止のため、花火大会やお祭り等、世間での行事が軒並み中止となる状況が続いていますが、予防対策をしっかりと行うことで、皆さんのお楽しみを機会を保ち続けられるよう、取り組んでいきたいと思っております。今後とも、感染症対策へのご協力をよろしくお願い致します。



就労継続支援B型



就労継続支援B型でのクラブ活動の様子を紹介したいと思います。
就労継続支援B型では、月に1回箕面市にある稲スポーツセンターへクラブ活動に行っています。しかし、4月・5月はコロナウイルスの影響で、稲スポーツセンターが休館しており、行くことができませんでした。

そこで、室内でも取り組める体を動かすスポーツで、「卓球バレー」や「ピンポリング」などに取り組みました。利用者の皆さんは初めて取り組むスポーツで、ルールなどしっかりと聞いて取り組まれていました。3チームに分かれ、チーム名は「阪神チーム」、「いきものがかりチーム」、「はなかつぱチーム」と個性豊かなネーミングセンスでした。試合も大盛り上がりとなり、得点を決めて喜ぶ時は、ソーシャルディスタンスを意識し、ハイタッチではなく、アイコンタクトやエアハイタッチで、喜びを共有されていました。

皆さんの喜ぶ姿を見ていると、利用者の方への余暇支援の充実が、生活の質（QOL）を高めることに繋がると、改めて感じました。このようなウィズコロナ時代でも、利用者の方の生活の質（QOL）を高められるように、余暇支援の充実を頑張っていこうと思っております。



避難訓練をしました



令和2年7月27日の月曜日、今年度第1回目の避難訓練を行いました。平成30年6月18日に発生した大阪北部地震はまだ記憶に新しく、これを教訓として今後の大地震を想定した訓練を実施することで、防災意識を高めること、また避難行動について再確認を行うこととしました。

想定では午前11時に、震度7クラスの大規模地震が発生、テーブルや机の下に頭を入れて安全を確保した後で、2階の生活介護と就労継続支援B型の利用者から避難開始し、続いて1階の生活介護の利用者が避難をしました。実際場面には遭遇したくないものですが、普段からもしもの時に備えて準備しておくことが大切です。皆さんには訓練を行うことはあらかじめお伝えしていましたが、どの方も真剣な面持ちで取り組んでおられました。最後に、水消火器を使って消火訓練を行いました。



あいパークについて

これまで11月の第2土曜日はあいまつりを実施してきましたが、コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、あいまつりは中止とします。代替行事として規模、時間を縮小し、参加者を生活介護・就労継続B型事業の利用者、支援員に限定した、「あいパーク」を実施致します。

日 時	令和2年11月14日（土）
生活介護（地域）	10時00分～11時30分
生活介護（グループホーム）	13時30分～15時00分
就労継続支援B型	10時30分～12時00分
備 考	利用者、支援員のみ参加としますので、ご家族等のご来場はご遠慮願います。

